



第15回
英語教育方法
研究七三十一

第1部 2014年 7/28(月)～7/29(火)

第2部 2014年 7/30(水)～8/15(金)

主催：一般財団法人 国際教育振興会

後援：文部科学省(申請中)、米国大使館(申請中)

協力：日米会話学院

www.iec-nichibei.or.jp

www.nichibei.ac.jp

【ご挨拶】

今年で第15回となるこのセミナーは、次代の青少年男女の世界観形成、進学・職業進路の選択などに重要な意味を持つ中等教育の実践に関わられる現職教員の方々を主たる対象として企画されています。

その第一部、二日間では、小学校・中学・高校課程の修了後に中高校生が、大学の課程、さらにはその後の実社会の中で、英語学習、英語使用、異文化理解、国際交流、国際実務の関連で、どのような環境、要件、制約、問題に遭遇するのか、またどのような準備対策が必要なのかなど、広範な課題に関しまして、講師たちが講義形式でお話いたします。

第二部は、小学校・中学校・高校教育の現場で応用可能な英語教授法の多様な側面をご紹介します、受講者の皆さまにも参加して頂く実践演習方式の多様なクラス構成となっています。

小学校・中学校・高校での英語教育は、単に高校や大学への進学準備のためのものに留まらず、次世代の青年男女の職業選択、専門家としての技術訓練、次世代社会の指導者の育成にまでも大きく関わるべきものであります。そのすべての基礎は小学校・中学校・高校での学習・指導にあります。

皆様がこのセミナーに参加されて、何らかの有意義な示唆を得られますよう、充実した講義を実施する所存です。

一般財団法人 国際教育振興会 理事長
日米会話学院 学院長
大井 孝

【概要】

主催	一般財団法人 国際教育振興会 International Education Center (IEC)	後援	文部科学省 (申請中) 米国大使館 (申請中)	協力	日米会話学院
日程	第1部 2014年7月28日(月)～7月29日(火)の2日間 第2部 2014年7月30日(水)～8月15日(金)の8日間 詳細は次ページ以降をご確認ください。			会場	日米会話学院校舎 (住所はお問合わせ先と同じ)
対象	小学校教員、中学・高校の英語教員、英語教員志望の大学生、英語教育に関心のある一般社会人など。				
申込方法	最終ページの募集要項をご確認ください。				
申込受付期間	2014年6月9日(月)～2014年7月19日(土) 申込順の受付で、定員に達し次第締切ります。定員に余裕のあるセッションは募集期間終了後も各セッション開講日までお申し込みいただけます。各セッションの空き状況につきましてはお電話にてお問い合わせください。				

第1部 研究セミナー

	7/28(月)	7/29(火)
10:00～12:00	セッション1 Developing Communicative Competence: From Theory to the Classroom (服部 孝彦) ※10:00～11:30	セッション4 実用和文英訳演習 (Sarah Allen)
13:00～15:00	セッション2 中上級者向け英文読解の教え方 (大井 孝)	セッション5 Global Communication in Practice: A Diplomat's View (沼田 貞昭)
15:10～17:10	セッション3 英語学習者はどこで、なぜつまづくのか —言語心理学からの検討 (大津 由紀雄)	セッション6 How to Effectively Deliver a Speech (Anthony Demko)

セッション	科目名	日程	時間 (授業分數)	定員	受講料	コード番号
セッション1	Developing Communicative Competence: From Theory to the Classroom	7/28(月)	10:00～11:30 (90分)	50名	20,570円	59544
セッション2	中上級者向け英文読解の教え方		13:00～15:00 (110分)			
セッション3	英語学習者はどこで、なぜつまづくのか —言語心理学からの検討		15:10～17:10 (110分)			
セッション4	実用和文英訳演習	7/29(火)	10:00～12:00 (110分)			
セッション5	Global Communication in Practice: A Diplomat's View		13:00～15:00 (110分)			
セッション6	How to Effectively Deliver a Speech		15:10～17:10 (110分)			

※ 各セッションは質疑応答の時間を含みます。また、セッション内で10分程度の休憩を取ります。

※ 学費は消費税込みの金額です。



7月28日(月)

時間	科目名	使用言語
10:00~11:30	セッション1 Developing Communicative Competence: From Theory to the Classroom	英
<p>本講座では、コミュニケーション能力の捉え方、及び生徒のコミュニケーション能力育成の基本的アプローチを教育実践者の立場から検討し、コミュニケーションの本質をとらえた本当のコミュニカティブな授業のあり方を考察する。コミュニケーション理論に基づきながらも、常に実際の授業場面を思い浮かべ、よりコミュニカティブな授業を実現するためには、どのような工夫をすべきかを多くの具体例と共に示す。受講者が主体的に講座に参加できるようにするため、ワークショップ形式の講義となる。 (受講者が授業を英語で行うための様々なヒントが得られるために、講義での使用言語は英語のみとなります。)</p> <p>講師: 服部 孝彦</p>		
13:00~15:00	セッション2 中上級者向け英文読解の教え方	日
<p>昨今の英語教育の場では、初級から上級まで、視聴覚教材使用の偏重が見られます。優れた英文の多読が軽視される結果、「自称」中上級者の英作文力、読解力が著しく低下しています。欧米の知識人の読む英文を日本人学習者が読むことによって、英作文力も向上します。単に意味を取るための、読解のための読解ではなく、口頭、作文による英語表現力強化のための緻密な英文読解が必要です。文法、構文、派生語、語源、類語、同意語、反意語、特定の事象の背景などを確認しながら読むことが必要です。教材として好適なものとは論理的に解明したい小説ではなく、現代国際政治史を扱う英米人向けの文章です。現代史の知識が希薄な若い世代の学習者にとっては一石何鳥にもなります。</p> <p>講師: 大井 孝</p>		
15:10~17:10	セッション3 英語学習者はどこで、なぜつまづくのか—言語心理学からの検討	日
<p>天満美智子先生の名著『子どもが英語につまづくとき—学校英語への提言』(1982、研究社)(John Holtの これまた名著 <i>How Children Fail</i> (1964、改訂版1982、Pitman Publishing Company)に触発されて、天満先生が執筆されたご本)は、いま読み返しても学ぶべきところが多い。今回はいわば大胆にも天満先生の向こうを張って、純粋に言語心理学の立場から英語学習者のつまづきの原因に迫ろうという野心的な講義である。</p> <p>最近の大学生のなかにはbe動詞と一般動詞の区別もおぼつかないものが珍しくない。このあたりをとっかかりとして、英語学習者のつまづきに挑みたい。</p> <p>なお、表題の間に対する模範解答が用意されているわけではなく、さまざまな資料や視点を提供しながら、受講者とともに探りを入れていきたいという、いわばワークショップを兼ねた講義であることをご承知おきいただきたい。</p> <p>講師: 大津 由紀雄</p>		

7月29日(火)

時間	科目名	使用言語
10:00~12:00	セッション4 実用和文英訳演習	日英
<p>Participants will form groups to translate a Japanese text into English and present it to the class. Presentations will be followed by comments, questions and discussion. Our goals will be to practice idiomatic expression and natural style through translation and incorporate translation as a teaching method.</p> <p>講師: Sarah Allen</p>		
13:00~15:00	セッション5 Global Communication in Practice: A Diplomat's View	英
<p>What does global communication entail in practice? It is not just knowing English as a language. You need to use it to persuade your listeners with logic, reason and humor. The speaker will recount his experience in meeting these challenges as a professional diplomat for 40 years, and talk about the efforts undertaken by The English-Speaking Union of Japan to foster future global communicators through the promotion of parliamentary debate. He will offer some practical suggestions.</p> <p>講師: 沼田 貞昭</p>		
15:10~17:10	セッション6 How to Effectively Deliver a Speech	英
<p>Giving a speech in front of an audience takes time and practice. In this seminar, participants will learn the main points for delivering a speech. The lecturer will explain and illustrate each point (total time: about 20 minutes). Participants will then be put into small groups and will be given a speech topic. After 10 minutes of preparation, one of the participants will deliver his/her speech to the audience. After the speech, a general critique by the speaker, lecturer, and audience will be given.</p> <p>講師: Anthony Demko</p>		

第2部 実践ワークショップ

	7/30(水)	7/31(木)	8/1(金)	8/2(土)	8/3(日)	8/10(日)	8/14(木)	8/15(金)
10:00 ～12:40	セッション7 【小学校外国語活動におけるCLILの実践方法】 (山野 有紀) ※10:00～12:10	セッション9 【6年の計は中1にあり】 (富田 花子) ※10:00～12:10		セッション12 【発話力トレーニング 入門編】 (Robert O'Hara)			セッション16 【アクティブ・リーディングセミナー Part 1 ～4技能を鍛えるアクティブな授業～】 (和田 玲) ※9:30～12:40	
13:50 ～17:00	セッション8 【文法ベースで行う高速和文英訳】 (鈴木 滋) ※13:30～16:40	セッション10 【英語イメージ教育20年の成果から学べることは ～小学校で意味あることを英語で学ぶことは可能か?～】 (井上 春樹) ※13:30～16:10	セッション11 【Introducing English Debate in High School】 (田村 智子)	セッション13 【発話力トレーニング 発展編】 (Robert O'Hara)	セッション14 【通訳メソッドでリスニング・スピーキング強化】 (岡本 恵子) ※↑同内容につき併行受講不可↑	セッション15 【通訳メソッドでリスニング・スピーキング強化】 (岡本 恵子)	セッション17 【アクティブ・リーディングセミナー Part 2 ～心を読み解く英語リーディング～】 (和田 玲)	セッション18 【アクティブ・リーディングセミナー Part 3 ～世界を読み解く英語リーディング～】 (和田 玲)

セッション	科目名	日程	時間 (授業分)	定員	受講料	コード番号
セッション7	小学校外国語活動におけるCLILの実践方法	7/30(水)	10:00～12:10 (120分)	30名	3,700円	59545
セッション8	文法ベースで行う高速和文英訳		13:30～16:40 (180分)	30名	5,550円	59546
セッション9	6年の計は中1にあり	7/31(木)	10:00～12:10 (120分)	30名	3,700円	59547
セッション10	英語イメージ教育20年の成果から学べることは ～小学校で意味あることを英語で学ぶことは可能か?～		13:30～16:10 (150分)	30名	4,620円	59548
セッション11	Introducing English Debate in High School	8/1(金)	10:00～17:00 (330分) (昼休:12:40～13:50)	30名	10,170円	59549
セッション12	発話力トレーニング 入門編	8/2(土)	10:00～12:40 (150分)	30名	4,620円	59550
セッション13	発話力トレーニング 発展編		13:50～17:00 (180分)	30名	5,550円	59551
セッション14	通訳メソッドでリスニング・スピーキング強化	8/3(日)	10:00～17:00 (330分) (昼休:12:40～13:50)	18名	10,170円	59552
セッション15	通訳メソッドでリスニング・スピーキング強化	8/10(日)	10:00～17:00 (330分) (昼休:12:40～13:50)	18名	10,170円	59553
セッション16	アクティブ・リーディングセミナー Part 1 ～4技能を鍛えるアクティブな授業～	8/14(木)	9:30～12:40 (180分)	30名	5,550円	59554
セッション17	アクティブ・リーディングセミナー Part 2 ～心を読み解く英語リーディング～		13:50～17:00 (180分)	30名	5,550円	59555
セッション18	アクティブ・リーディングセミナー Part 3 ～世界を読み解く英語リーディング～	8/15(金)	10:00～17:00 (330分) (昼休:12:40～13:50)	30名	10,170円	59556

- ※ 各セッションは質疑応答の時間を含みます。また、セッション内で10分程度の休憩を取ります。
- ※ セッション12、13の「発話力トレーニング 入門編・発展編」は連動しています。1科目のみのご受講も可能ですが、合わせてのご受講をお奨めします。
- ※ セッション14、15「通訳メソッドでリスニング・スピーキング強化」は、LL教室使用のため、定員を18名とさせていただきます。(同内容につき、併行受講不可)
- ※ セッション16～18の「アクティブ・リーディングセミナー Part 1～3」は連動しています。1科目のみのご受講も可能ですが、合わせてのご受講をお奨めします。
- ※ 学費は消費税込みの金額です。

7月30日(水)

時間	科目名	使用言語	コード番号
10:00～12:10	セッション7 小学校外国語活動におけるCLILの実践方法	日英	59545
<p>小学校英語の教科化・3年生からの早期導入が検討される中、どのような内容でどう教えるかということは大きな課題のひとつとなっています。この講座では、その課題に対するひとつの方策として、近年新しい外国語教授法として注目されている内容言語統合型学習(Content and Language Integrated Learning (CLIL))の日本の小学校英語における活用を紹介します。CLILとは、学習者の知的学齢に沿った、興味ある内容での言語学習、国際理解・協同学習・思考スキルの習得の促進を要として、EU統合によりコミュニケーションのための外国語教育が必須となったヨーロッパで、グローバル化社会に対応した言語教育法として発展してきました。今講座では、CLILの基本的な考え方・実践例を紹介した後、みなさんにも授業を体験していただきながら、日本の小学校英語教育におけるCLILの活用についてヒントを掴んでいただこうと思います。</p> <p>講師： 山野 有紀</p>			
13:30～16:40	セッション8 文法ペースで行う高速和文英訳	日英	59546
<p>従来とは異なる視点で文法を理解し、日→英の即時転換トレーニングへと応用することで、センテンスさらにはまとまりのある文章で発信する力の強化へと発展させます。講師が数多くの企業研修において実施し、ビジネススピールの実践的英語力向上に絶大な効果を発揮してきたメソッドをビジネス英語の教材を使って紹介します。</p> <p>全ての英語のセンテンスが「SV」から出来ていると思っていると説明しきれないことが多く、説明できたとしてもとても複雑になります。しかし、少し視点を変えることでスッキリさせることができます。次に、高速和文英訳(注1)や、サマライジング(注2)といった手法を用い、瞬時に日→英に変換する力をつけます。センテンスだけでなくまとまりのある文章を聞き手・読み手に分かり易い英語で伝えるスキルを身につけます。</p> <p>文法・語彙・表現・文章構成が身体の一部になるまで徹底的に反復練習し、センテンス単位からパラグラフ単位まで、素早くかつ適切に発信する力を身につけます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 視点を変えて文法を理解 ● 高速和文英訳 ● サマライジング <p>注1) 日本語文を瞬時に英語に変換する 注2) 文章をまとめる</p> <p>講師： 鈴木 滋</p>			

7月31日(木)

時間	科目名	使用言語	コード番号
10:00～12:10	セッション9 6年の計は中1にあり	日	59547
<p>中高一貫校では6年間というスパンで英語教育を考えることができます。結果、教える側の工夫次第で、国内大学はもちろん、それ以外の選択肢も生徒に持たせることができます。例えば、米国大学進学は高い英語力を有する帰国子女に限られた選択肢と思われがちですが、海外に住んだことがなく、中学校で初めて英語を習う一般生にとっても現実的な選択肢になりえます。現に私の勤務校では一般生の海外大学進学が新しい潮流ですし、国内進学者も海外研修や留学などのプログラムに意欲的に参加しています。今回の講演では私の関った学年での実践を紹介し、6年間の振り返りをします。中高一貫教育や海外大学進学指導を考える一つのきっかけにいただければ幸いです。</p> <p>講師： 富田 花子</p>			
13:30～16:10	セッション10 英語イマージョン教育20年の成果から学べることは～小学校で意味あることを英語で学ぶことは可能か？～	日	59548
<p>ぐんま国際アカデミー初等部における英語イマージョン教育では、3年生で英検2級に合格し、6年生になると23名が合格するというように、多くの人が羨むほどの成果をあげています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● なぜ、小学生で、英語で考え、英語で自分の意見を述べられるまでになったか。 ● それを支えているものは何か。 ● 親の支援は。 ● 教材準備、教師の資格採用は。 ● イマージョンの弱点とされるものは何か。 <p>本校の取り組みを紹介しながら、その成果から小学3年生からの英語必修化へ示唆する方向ー英語で学ぶーについて具体的な方策を考えていきます。</p> <p>講師： 井上 春樹</p>			

8月1日(金)

時間	科目名	使用言語	コード番号
10:00～17:00	セッション11 Introducing English Debate in High School	英	59549
<p>“Debate” is a structured public speaking activity by two opposing parties to persuade the audience to make decisions about important public policies. Both sides (For Side and Against Side) present their arguments, criticize the opponents’ arguments, and conduct Q & A sessions in front of the audience, who pay close attention to “what” the speakers say as well as “how” they say it (delivery or communication skills) before making their final decisions. The activity’s pedagogical value has long been proven; students not only improve public speaking skills but also learn how to think analytically, critically, and above all “quickly” on the spot. When tried in a foreign language (e.g. English), the activity has also proven to be highly effective in helping students improve their oral communication skills.</p> <p>This seminar is a “hands-on” introduction to “teaching English debate to high school students” and will cover the following three areas:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) What is “English debate”? 2) How can the activity planned and designed to fit in an everyday classroom setting so that it will be easy, effective, and enjoyable? 3) What are possible problems and their solutions? (Participants will explore these questions by actually experiencing the step-by-step classroom debate activity.) <p>Those who are interested in introducing debate in their English classes, those who have heard about debate but still have very limited knowledge about the activity, or even those who have never heard of English debate but are interested in finding out what it is are all welcome to join. The nature of this seminar being as such, the participants will be doing a lot of speaking, listening, and note-taking practice.</p> <p>講師: 田村 智子</p>			

8月2日(土)

時間	科目名	使用言語	コード番号
10:00～12:40	セッション12 発話カトレーニング 入門編	英	59550
<p>英語を使うことに慣れ、スピーキングに自信をつけます。 「沈黙は“禁”」。自己紹介、学校紹介、物・人の描写、視覚素材を使った説明など様々なタスクを通し、スピーキングのスピードアップを図ります。先生ご自身のスピーキング力を鍛えるだけでなく、クラスルーム・イングリッシュを学び、自身の授業展開へも役立ちます。</p> <p>講師: Robert O’Hara</p>			
13:50～17:00	セッション13 発話カトレーニング 発展編	英	59551
<p>スピーキング力向上のためのクラスです。 「あいさつ」だけの英語からの脱却を目指します。 与えられたテーマについて、語彙強化／内容把握／質問をする・質問に答える／論理的に意見を述べる／言い換える／要約する／トピックについてディスカッションする、などのタスクを行います。 会話の繋げ方、効果的な意見の述べ方、まとめ方、ディスカッションの仕方などを実践し、スピーキング力の向上を図り、また、先生ご自身の授業展開へも役立ちます。</p> <p>講師: Robert O’Hara</p>			

8月3日(日)

時間	科目名	使用言語	コード番号
10:00～17:00	セッション14 通訳メソッドでリスニング・スピーキング強化	日英	59552
<p>通訳トレーニングには英語学習のヒントがたくさんあります。通訳トレーニングを体験し、スピーキング・リスニング力を鍛えながら、生徒指導への活用法を探ります。通訳トレーニングでは、入ってくる情報をそのまま英語の語順で理解できるようにトレーニングをします。効率のよい口頭練習を行い、発音、イントネーションをチェックし、リスニング力・発話力だけでなく、長文読解力の向上にもつなげます。</p> <p>単文、ダイアログ、センター試験リスニング、TOEIC、有名人のスピーチなど、目的別の様々な音声素材を取り上げ、ご自身のスキルアップを図ると共に、授業運営のヒントとなるような提案を致します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● クイックレスポンス ● スラッシュリーディング ● リピーティング ● オーバーラッピング ● シャドーイング ● スラッシュリスニング ● サイトトランスレーション <p>※トレーニングには、新教材を使用します。(同内容のセッション15 [8月10日(日)実施] の併行受講不可)</p> <p>講師: 岡本 恵子</p>			

8月10日(日)

時間	科目名	使用言語	コード番号
10:00～17:00	セッション15 通訳メソッドでリスニング・スピーキング強化	日英	59553
<p>通訳トレーニングには英語学習のヒントがたくさんあります。通訳トレーニングを体験し、スピーキング・リスニング力を鍛えながら、生徒指導への活用法を探ります。通訳トレーニングでは、入ってくる情報をそのまま英語の語順で理解できるようにトレーニングをします。効率のよい口頭練習を行い、発音、イントネーションをチェックし、リスニング力・発話力だけでなく、長文読解力の向上にもつなげます。</p> <p>単文、ダイアログ、センター試験リスニング、TOEIC、有名人のスピーチなど、目的別の様々な音声素材を取り上げ、ご自身のスキルアップを図ると共に、授業運営のヒントとなるような提案を致します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● クイックレスポンス ● スラッシュリーディング ● リピーティング ● オーバーラッピング ● シャドーイング ● スラッシュリスニング ● サイトトランスレーション <p>※トレーニングには、新教材を使用します。(同内容のセッション14 [8月3日(日)実施] との併行受講不可)</p> <p>講師：岡本 恵子</p>			

8月14日(木)

時間	科目名	使用言語	コード番号
9:30～12:40	セッション16 アクティブ・リーディングセミナー Part 1 ～4技能を鍛えるアクティブな授業～	日英	59554
<p>「Input→Intake→Output」の指導手順を丁寧に追い、予習無しで実践的なアウトプット活動までを手引きする実践例を体験して頂きます。耳・口・手・頭・そして顔の表情も総動員し、生徒を絶えず動かして緊張感をほどかないアクティブなトレーニングを実践します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 4技能を鍛えるアクティブな授業の様々な実践事例 ● 英語特有の「論理」を身につけ、読解力や発信力に結びつける指導の展開 ● クラスを作るとは何か？英語教師が目指すべきこととは？ <p>講師：和田 玲</p>			
13:50～17:00	セッション17 アクティブ・リーディングセミナー Part 2 ～心を読み解く英語リーディング～	日英	59555
<p>テストを用いたアクティブな授業、心を読み解く教科書リーディング、名文暗唱・英語レシテーションへの発展的指導法など、「言葉と出会い、心を読み解く英語リーディング」の指導例について体験します。『5STEP アクティブリーディング』『論理を読み解く英語リーディング』の著者が、英語力向上のトレーニング方法のみならず、生徒と生徒・生徒と教師の心をつなぎ、笑顔に溢れ、豊かな表現を育む授業のあり方について、実践を通して解説します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 4技能を鍛えるアクティブな授業の様々な実践事例 ● 英語特有の「論理」を身につけ、読解力や発信力に結びつける指導の展開 ● クラスを作るとは何か？英語教師が目指すべきこととは？ <p>講師：和田 玲</p>			

8月15日(金)

時間	科目名	使用言語	コード番号
10:00～17:00	セッション18 アクティブ・リーディングセミナー Part 3 ～世界を読み解く英語リーディング～	日英	59556
<p>ともすれば、長文リーディングの授業は大学受験指導に偏りがちです。しかし、「読む」とは本来、「世界を知り、感じ、思考し、そして自分の考えを強化する」ための営みにほかなりません。「自己拡大の学び」といってもいいでしょう。世界には私たちに想像もできないような様々な光景が広がっています。英語リーディングの学びを通じて、世界の実態について触れ、目を開かれるような経験をする。またそれについて考え、議論し、自分なりの考えを英語で発信できるようにする。英語リーディングの授業では、そうした「実用技能の訓練」と「自己拡大のための学び」の両面を追求することが大切だと考えます。</p> <p>ここ数年、私が実際に行ってきた授業計画に沿って、教材提示の方法やアクティブな指導展開、また自己拡大につながるような授業の仕掛け方などに関して、ワークショップ形式でご紹介致します。</p> <p>午前の部では、【地球環境問題】に関して、どのように取り組み、目を開かせていくかについて。午後の部では、【国際社会問題】の一部とそれに対して【いま私たちにできること】について考えていきます。</p> <p>講師：和田 玲</p>			

※セッション16～18の「アクティブ・リーディングセミナー Part 1～3」は連動しています。1科目のみのご受講も可能ですが、合わせてのご受講をお奨めします。

参考図書：和田 玲著『世界を読み解く英語リーディング』(学校専売品) (アルク高校学参シリーズ 参考価格 972 円)
和田 玲著『5Step アクティブ・リーディング』(アルク高校学参シリーズ 参考価格 1,728 円)

■講師

ALLEN, SARAH	日米会話学院講師。 シカゴ大学大学院修士課程修了(人文科学)。フロリダ大学卒(哲学)。フリーランス翻訳家。
INOUE, HARUKI 井上 春樹	静岡県で公立小学校に勤務後、1992年、沼津市の加藤学園に於いて英語イマージョン教育を日本で最初に立ち上げる。2005年、群馬県太田市で英語特区構想による英語イマージョン校(小中高12年間一貫校)“ぐんま国際アカデミー(GKA)”の設立に参画。現在、ぐんま国際アカデミー初等部副校長。
DEMKO, ANTHONY	日米会話学院講師。ACTFL試験官の指導資格者。 ワシントン大学大学院修士課程修了(中国文学)、ミラーズビル大学卒(フランス語)。
HATTORI, TAKAHIKO 服部 孝彦	初等・中等・高等教育を日米両国で受けた帰国子女。言語学博士(Ph.D.)。米国ケンタッキー州立ミューラー大学(MSU)大学院客員教授等を経て現在、大妻女子大学・大学院人間文化研究科言語文化学専攻教授、早稲田大学講師。国連英検統括監修官兼外国人面接官指導研修スーパーバイザー、海外子女教育振興財団外国語保持教室アドバイザー、元NHK英語教育番組講師。主な著書に、文部科学省検定中学英語教科書『ニューホライズン』(共著、東京書籍)他、著書107冊、学術誌発表論文112編、学会発表論文138編、教育誌執筆記事425編。1年間の日本及び海外での英語教育、帰国子女教育関係の講演回数は50回を超える。日本に本拠地を置く現在でも日米間を一年に何往復もしながら、日米両国の国際学会等での研究発表及び講演活動を精力的にこなす。
NUMATA, SADA AKI 沼田 貞昭	日米英語交流連盟会長、鹿島建設株式会社顧問。元在カナダ特命全権大使。 外務省にて在米大使館安全保障担当、本省北米第一課長などを経て、94年に在英特命全権公使。1998-2000年外務報道官、その後2000年からパキスタン、04年からカナダの特命全権大使を歴任。オックスフォード大学大学院修士課程修了(哲学・政治学・経済学)、東京大学卒(法学)。
O'HARA, ROBERT	日米会話学院講師。 フロリダメトロポリタン大学大学院修士課程修了(MBA)、ミネソタ州立大学卒(科学)。 著書:『言いまくり!英語スピーキング入門』(コスモピア) 他
OI, TAKASHI 大井 孝	東京学芸大学名誉教授、国際教育振興会理事長、日米会話学院学院長。元米國務省言語サービス課嘱託通訳・英仏語会議通訳。パリ第二大学国家博士(政治学)(仏政府給費生)。早稲田大学大学院政治学博士課程修了。コロンビア大学大学院修士(政治学)(フルブライト給費生)。早稲田大学政治経済学部卒。 近著:『欧州の国際関係1919-1946』たちばな出版
OKAMOTO, KEIKO 岡本 恵子	日米会話学院講師。 津田塾大学卒(英文学)、フリーランス翻訳家。
OTSU, YUKIO 大津 由紀雄	明海大学大学院担当副学長、明海大学外国語学部教授、慶應義塾大学名誉教授、東京言語研究所運営委員。一般社団法人ことばの教育初代理事長(代表理事)。 マサチューセッツ工科大学大学院 言語学・哲学研究科(Ph.D.)、東京教育大学大学院修士課程修了、東京教育大学文学部卒(英語学英文学)。 主な著書:『講座・言語の科学 言語の獲得と喪失』(岩波書店)、『認知心理学3言語』(東大出版会)、『小学校での英語教育は必要か』(慶應義塾大学出版会)、その他、著書多数
SUZUKI, SHIGERU 鈴木 滋	日米会話学院講師。 カリフォルニア州立サンホセ大学大学院修士課程修了(TESOL)、亜細亜大学卒(経営学) 著書:『使おう!英文法』(Office Beyond)
TAMURA, TOMOKO 田村 智子	当学院同時通訳科・官庁企業委託科講師。早稲田大学大学院国際コミュニケーション研究科講師、亜細亜大学多文化コミュニケーション学科講師、上智大学公開学習センター講師。元ミシガン大学附属英語研修所講師。通訳案内士。(社)日本観光通訳協会会員、(協)全日本通訳案内士連盟会員。ミシガン大学大学院修士課程修了(言語学)、上智大学外国語学部英語学科卒。大学対抗英語ディベート大会にて準優勝の経験を持ち、当学院官庁企業委託科においてパブリックスピーキング及びディベート科目の主任講師として長年にわたり、カリキュラム及び教材作成に携わる。「同時通訳が頭の中で一瞬でやっている英訳術リプロセッシング」(三修社)・「同時通訳が頭の中で一瞬でやっている英訳術リプロセッシングドリル」(三修社)他、著書多数。
TOMITA, HANAKO 富田 花子	渋谷教育学園幕張中学・高等学校で教員歴23年(5年前まで中学生を主に担当)。 2010年 Grew Bancroft主催の大学視察旅行参加をきっかけに海外大学への進学支援。 2012年度 卒業生6名米国大学に進学 2013年度2名(一般生:帰国生 1:1)。 2013年 2度目のGrew Bancroft主催大学視察旅行参加。 2014年度 3度目の高校3学年配属。 渋幕2期生(初の帰国子女として転入)、東京外国語大学卒(日本語学科)。

<p>WADA, REI 和田 玲</p>	<p>順天中学高等学校勤務。様々な英語授業研修会で講師を務め、生徒主体の活動的な授業方法の研究に精力的に取り組んでいる。テコンドーの達人でもあり、全日本大会では3回優勝、世界大会では個人戦3位の戦績をもつ。技術指導員としてアメリカ・ユース代表チームの指導にあたった経験もある。 著書:『5STEPアクティブ・リーディング』、『論理を読み解く英語リーディング』、『世界を読み解く英語リーディング』(アルク学参シリーズ)</p>
<p>YAMANO, YUKI 山野 有紀</p>	<p>宇都宮大学教育学部英語教育専任講師(英語教授法・小学校英語教育)。 上智大学大学院博士後期課程在籍。上智大学大学院修士課程修了(TESOL)。 白百合女子大学文学部児童文化学専攻卒。</p>

■募集要項

● 受講申込書

第15回英語教育方法研究セミナー用の受講申込書にご希望の科目の名称、コードおよび必要事項を記入し、窓口に提出するか、FAX(03-3353-8908)にてお送りください。

なお、学費のお支払いが団体の場合で、ご請求書の送付をご希望の場合は、受講申込書該当欄に必要事項をご記入ください。

(受講申込書は当財団窓口にて入手、または、ホームページ[www.iec-nichibei.or.jp / www.nichibei.ac.jp]からダウンロードが可能です。)

※FAXでお申し込みの場合は受信確認のため、送信後、電話(03-3359-9621)までご連絡ください。

● お申込受付期間

6月9日(月)～7月19日(土)

申込順の受付で、定員に達し次第締切ります。定員に余裕のあるセッションは募集期間終了後も各セッション開講日までお申し込みいただけます。各セッションの空き状況につきましてはお電話(03-3359-9621)にてお問い合わせください。

● 受講料納入

受講料合計額をお申し込み後、5日以内に、以下までご納入ください。振込手数料は、お客様負担とさせていただきます。

振込の際、**振込人名はご本人の氏名**をご入力ください。なお、**振込人名義が異なる場合は、弊財団までお申し出**ください。

振込先:

三井住友銀行 麹町支店
口座名 一般財団法人国際教育振興会
口座番号 普通預金 2618244

学費のお支払いが団体の場合で、ご請求書の送付をご希望された方にはご請求書をお送りします。

内容をご確認後、ご入金ください。

● 修了証明書

ご受講の皆様は「修了証明書」を、最終受講講座終了後にお渡します。

● 受講撤回時の取り扱い

1. 開講日の前日までの受講撤回

書面による申し出にて学費の全額を返却します。但し、返金手数料(1,000円)を差し引きます。

2. 学費の返却方法

原則、銀行振込にて返却します(当該書面/書類には振込先の銀行口座の番号等をご記載ください)。

● 追加講座

募集定員を超えてお申込を頂いた講座に関しましては、講師とスケジュールを調整した上、追加講座を実施する場合があります。

● お問い合わせ・お申込先

〒160-0004 東京都新宿区四谷1-21

一般財団法人 国際教育振興会 「英語教育方法研究セミナー」係 坂口・藤倉

電話:03-3359-9621 FAX:03-3353-8908 Eメール:info@nichibei.ac.jp

※第36回「全国中学高校教員による英語弁論大会」は2014年11月16日(日)に実施されます。

実施要領、出場申込書など詳細は一般財団法人 国際教育振興会ホームページまたはパンフレットをご参照ください。

皆様のご応募をお待ちしております。

■ご参加された方の声（2013年度）

昨年度ご参加の方々の声を一部ご紹介いたします。

初めてこの研修に参加させていただきましたが、どの講師の方も素晴らしく、時間いっぱい有効に使われておりました。生徒の立場になって授業を受け、自分の教員としての授業への取り組み方や組み立て、準備等について改めて反省しました。

一日がとても短く感じました。盛りだくさんの教授法で学ぶことばかりで課題も見つかりました。これからの指導法や英語力向上に生かしていきます。また、機会があれば参加したいです。ありがとうございました。内容もよく、レベルも高く、はるばる来てよかったです。

毎年参加させていただいていますが、参加するたびに勉強しなくてはいけないという気持ちになります。先生方の熱意も素晴らしいですし、参加されている方々もとても意欲的で、こちらこの夏休みにがんばろうと思わせてくださるようなセミナーでした。先生方のうしろには子どもたちがいて、その子どもたちのために教育があり、私たちもそのためにこの仕事をしているのだという初心に戻ることができました。本当にありがとうございました。

とてもためになる授業をありがとうございました。自分の英語力向上にも、指導方法にも、今後役立てていきたいと思えます。本当に魅力的な授業でした。

1日中英語を話し続けていて、緊張しましたがとても充実していました。留学経験などほとんどない身で、スピーキングには一番苦手意識を持っていたのですが、今日のRobert先生のレッスンで、初めて少し自信を持つことができました。それはひとえに先生の、生徒のモチベーションや自信をUPさせる笑顔とほめ言葉、授業を楽しくするユーモアがあったからだと思えます。楽しかったです！

講師の先生のお人柄とテンポのよい進行にひきこまれ、あっという間の6時間でした。自分自身が英語を話す機会がたくさんとれたことと、話し方のフォーマットを提示していただけたことが役立ちました。フォーマットは生徒と授業をする時にいろいろとアレンジできそうでよかったです。

二言目には、言い訳ばかりしてきた自分を深く反省しました。教師も本気でプロ意識を持たなければ・・・と思えました。長時間ありがとうございました。

先生の授業を通し、教授法以前に自分の英語力の低さに気づき、このままでは、いけない、高める努力をしようと思いました。生徒をやる気にさせるステップを踏むことが大切だと感じ、「楽しい」「成長が実感できる」授業にしたいと思えます。

教員になって初めて参加したセミナーですが、本当に充実していました。授業1つ1つの内容もさることながら、運営の方々がとても親切で、きめ細やかに対応してくださったのが印象的でした。おかげで楽しく通うことが出来ました。ありがとうございました。

今回のセミナーは自分の知識、教授法を確かなものにするという点で、とても勉強になりました。言葉や手法の名前は知っていてもそれが何なのか、どのように活用すればよいのか不確かでした。1通りの講座を受講しましたが、どれも有意義な時間を過ごすことが出来ました。ありがとうございました。

実践的で自分自身が体験する時間がたくさんあったので、とても勉強になりました。これを活かせる方法これから考えて、実際の授業に作りたと思います。

受講生の方のレベルもかなり高い中で、精読、音読、シャドーイングなど早いテンポで必要事項の確認がすすみ、更に、ペアワークとグループワークを混ぜ合わせた形での受講生同士の関わりと知識の確認を促す講義スタイルがとても勉強になりました。

徹底的に音読活動を体験させて頂くことができました。理屈は何となく分かっていたのですが、体験してみるとなかなかうまくいかず、生徒の気持ちが分かりました。もっと丁寧に指導していきたいと思えました。

授業で実践するヒントになったり、自分自身のスキルアップにもつながる楽しいレッスンでした。シャドーイングは今まで自分がやったことがほとんどなく、意義なども良く理解していなかったのですが、今回詳しく説明して頂いて、直後に実践もできて実感することができて、よくわかりました。これからは自分でも取り組んでみたいと思えます。

発話力…もっとも苦手とするスキルでした。教員にとっては簡単な内容かもしれませんが、発言の組み立て方を論理的に説明して下さい、納得できるものが多かったです。「生徒にもやらせられるな」という印象を持つものも多く、授業でも使えそうです。

音読の意義など、再認識させられました。特にpost-readingでの生徒のoutput活動については、まだまださらに考えていかねばならないと思えました。また、読解の深みが自分にはまだ足りないの、頑張らねばと思えました。新たな刺激を得て、2学期を迎えられそうです。ありがとうございました。

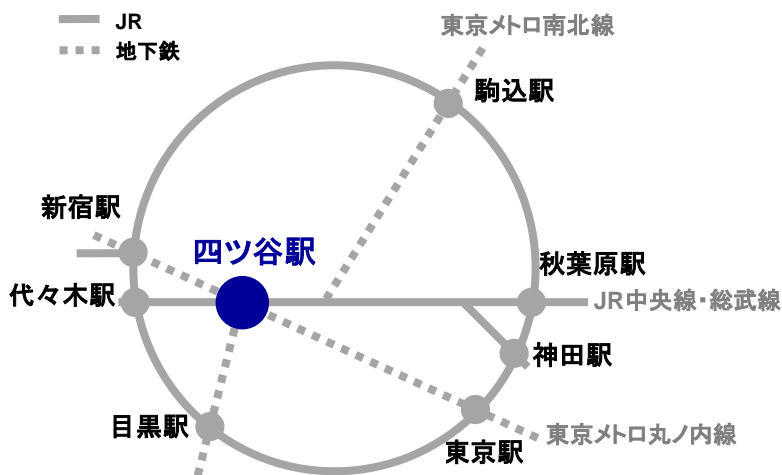
■近隣宿泊施設ご案内

※ 弊財団での宿泊予約は行っておりません。恐れ入りますが、それぞれのホテルへ直接ご連絡ください。

三井ガーデンホテル四谷 http://www.gardenhotels.co.jp/yotsuya/	03-3358-1131	〒160-0004 東京都新宿四谷1-24	IEC 日米会話学院まで 徒歩1分
東急ステイ四谷 http://www.tokyustay.co.jp/hotel/YOT/	03-3354-0109	〒160-0004 東京都新宿四谷2-1	IEC 日米会話学院まで 徒歩3分
ホテルウイングインターナショナルプレミアム 東京四谷 http://www.hotelwing.co.jp/yotsuya	03-3356-2111	〒160-0004 東京都新宿四谷3-14-1	東京メトロ地下鉄丸ノ内線 四谷三丁目駅 徒歩1分
ホテルニューオータニ http://www.newotani.co.jp/tokyo/	03-3265-1111	〒102-8578 東京都千代田区紀尾井町4-1	IEC 日米会話学院まで 徒歩12分

アクセス

JR中央線・総武線／東京メトロ丸ノ内線・南北線



IEC International Education Center 一般財団法人 国際教育振興会

- 国際教育交流・異文化理解促進事業
- 英語・日本語等語学教育事業
- ・日米会話学院 ・日本語研修所

窓口お問い合わせ 平日： 9:00～20:00
土曜： 9:45～17:30

願書・学費取扱 平日： 9:00～19:30
土曜： 9:45～17:00

www.iec-nichibei.or.jp / www.nichibei.ac.jp
TEL 03-3359-9621 Fax 03-3353-8908
〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目21番地
JR中央線・総武線／東京メトロ丸ノ内線・南北線
四ツ谷駅下車徒歩3分

お気軽にお問い合わせください。